

「TPBASE」における  
「Micro Focus Server Express」  
との連携に関する検証報告

2007年 11月

NEC 第二システムソフトウェア事業部  
AP サーバ開発グループ

## 目次

1. 概要 .....	1
1.1. 目的.....	1
1.2. 背景.....	1
2. 検証環境.....	1
3. 検証製品 .....	1
4. 検証項目 .....	2
5. 検証結果 .....	3
6. 注意/制限事項.....	3
7. お問い合わせ先 .....	3

- Micro Focus COBOL(tm)、Server Express(tm) は、Micro Focus International Limited の商標です。
- Solaris は米国 Sun Microsystems,Inc.の登録商標です。
- すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。

## 1. 概要

### 1.1. 目的

現在の TPBASE の COBOL 連携機能(弊社製品 COBOL85 および COBOL85pro との)に関して、Micro Focus Server Express についても同等の連携が可能であるかを検証する。

### 1.2. 背景

現行の TPBASE は、COBOL85、COBOL85pro と連携しており、弊社製メインフレームである ACOS4 からの AP の移行を容易にしている。今後、プラットフォームの拡大、ユーザニーズに対応するためマイクロフォーカス社製の COBOL とも連携する必要性が生じた。特に Solaris および Linux では COBOL85 のサポート予定がないため、TPBASE の標準機能として Micro Focus Server Express との連携が必須となる。

## 2. 検証環境

OS : Solaris 8  
CPU : UltraSPARC-III 750 MHz ×2  
メモリ : 1.5GB

## 3. 検証製品

- ・ TPBASE R1.1
- ・ Micro Focus Server Express 5.0J for Solaris

#### 4. 検証項目

TPBASE は C 言語で作成されており、TPBASE を主プログラムとして COBOL で作成されたトランザクション処理プログラム(ユーザロジック)を副プログラムという構成が基本である。

- TPBASE から COBOL で作成された共有ライブラリ(\*.so)の動的ロードおよび共有ライブラリに含まれる COBOL サブルーチンの呼び出しを行う。  
(C 言語プログラムから COBOL プログラムの呼び出し)
- 上記 COBOL サブルーチンから TPBASE の API の呼び出しを行う。  
(COBOL プログラムから C 言語プログラムの呼び出し)
- COBOL 実行時エラーが発生した場合に TPBASE で登録した出口ルーチン (C 言語)の呼び出しを行う。
- COBOL プログラムで例外が発生した場合に TPBASE で登録した例外ハンドラ (C 言語)の呼び出しを行う。
- COBOL 実行時エラーおよび例外発生後に COBOL サブルーチンの呼び出しを行う。
- COBOL サブルーチンの任意の箇所から TPBASE の API を使用して TPBASE に制御を移す。その後に COBOL サブルーチンを呼び出すことも行う。  
(API 内で `coblongjump0`を使用した後に COBOL プログラムを呼び出す)
- 連続してトランザクションを投入する。  
(C 言語プログラムから COBOL プログラムの呼び出しを、またその逆を繰り返し行う)

## 5. 検証結果

検証項目に関して全て問題なく動作した。

これにより COBOL85 と同等の連携が可能と判断する。

## 6. 注意/制限事項

- ・トランザクション処理モジュール作成時に TPBASE のライブラリをリンクする必要があるが、通常のライブラリではなく Micro Focus Server Express 専用を用意したライブラリをリンクすること。
- ・TPBASE の提供する COPY 原文は COBOL85 用のものではなく Micro Focus Server Express 用に用意したものを使用する。

## 7. お問い合わせ先

NEC システムソフトウェア事業本部

第二システムソフトウェア事業部 AP サーバ開発グループ

E-Mail : [tpbase-info@mid.jp.nec.com](mailto:tpbase-info@mid.jp.nec.com)

TEL : (03)3456-4321

FAX : (03)3456-4392